

# 東京プチアーカイブ



毎度時々お馴染み、取り壊される前の旧店舗から救出した、壁紙代わりに使ってた半端に古い東京写真を手掛かりに、遠浅な思い出を羅列するひととき。

滅多に向かないせい、行くたびに綺麗になっていく亀有。平成がスタートする前後、まだまだとぼけた店が点在してた頃の鮮烈な思い出は、レコード屋のショーウィンドに、カマカのウクレレが激安でぶら下がってたことだ。ハワイで一番のウクレレメーカー、当時だったらきつと良いコアの木を使っていたことだろう。買っておけばよかつ

たど、随分後悔した。

その商店街の奥まった一角に亀有有名画座があった。最盛期は知らないが、いつもピンク映画をやっているのに、夏休みだけ漫画まつりになる素敵な箱だった。外にソファアが置いてあることもあったと思う。明日から夏休みって時の、ボスターその他の入れ替え点検作業を、一度見てみたいと思っただけだ。勘違いしてやってくるオジサン連中のこ落胆振りとか。

今や亀有食品市場だけが、生き証人なのかも知れない。



# 高野金次郎商店

親切第一 平成30年盛夏号

版元:東京ペンギン堂本舗・高野ひろし 豊島区北大塚2-26-1

fax:03-3917-1949 RXM04421@nifty.com

協力:高島平電脳研究所、築地河岸工房

関連ウェブ:各種検索エンジンで「東京ペンギン堂本舗」検索するとポータルサイトに辿り着けます。http://shiosenbe.booo.jp/

## 勝手にお気に入り5

五月の連休以降に見た映画のベスト5

・さすらいの

レコードコレクター

・アエナ・ピスタ・ソシア

ル・クラブ・アディオス

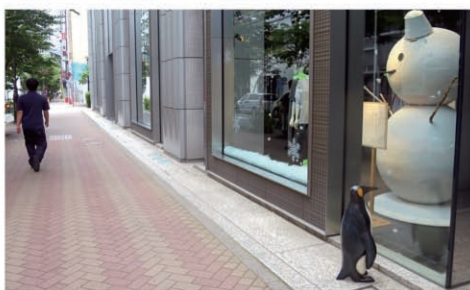
・ラ・チャナ

・ジェイソン・ジェイコフズ

・ハン・ソロ

次点:ラン・ペイジ、ピータラビット、犬ヶ島

# 銀の輔銀座千枚



い細めの道を歩きたくなるね。じゃあ路地はどうかつていうと、両サイドのエアコン室外機から熱風の浴び放題…。やっぱりお店に入るのが一番かなあ。

伊東屋さんのウィンドで、僕の知り合いがサーフィンしてた。どうだい、今日の波の具合は？ やけに爽やかで涼しそうじゃないか。君たちみたいにスイスイと暮らせたら楽しそうだね。でもさ、もしかしたら泳いだ方が早いかも知れないよ。

気温が三十五度超えたら、ほほほ自然災害に近いものがある。気温が三十五度なら、道は四十度以上あるよね。銀座四丁目的に言うと、午前中は三越側が日陰なんだ。でもどっちにしたら暑いものは暑いから、つ

でも一番涼しそうなのは並木通りの雪だるま。羨ましい！ そっち側に行ってもいいですかね。あなたを見てたら、かき氷が食べたくなったよ。でも同じ通りの松崎煎餅は工事中。ここがかき氷は美味しいのになあ、とらやまで走ろうかなあ…。



## 皮膚科と墓参と。パン

この歳になってもアトピーがありましてね、知り合いに勧められて都立大学駅にある『すみクリニック』って皮膚科に通ってるんですわ。そんなことでもなければ、東京右半分男は東横線なんぞに乗りません。クリニックは混んで午前中が潰れちゃう。でも月に一度だし、薬が出るまで近所を歩いたり、高架下の東急ストアの店頭で時々やってる野菜直売に当たると、野菜の食いとしては嬉しいですよ。この町はパン屋が多くて、ほら、僕はパン屋と煎餅屋を素通り出来ない男だから、買ったたり食べたりする訳です。



こないだもね、薬局に処方箋出して、ここんとこ気に入ってる『トラスバランテ』で早お昼したんですね。やや歯応え有りなバゲット系パンに、アボカドとトマトとチーズ、コーヒーカーなど思っただけ、かぼちゃスープなら冷製が有りますよって可愛いお姉さんに言われて、こいつは僕のニンに無いなあと思いつつ、東京左半分らしいお昼ご飯を食べました。ガッティっていう小さなテニッシュも好きなんだけど、既にカロリー満点ですからね、今日はやめときましょ。

改札口の裏に回ると、高架下の前後に細い並木道、ひと目で元川って分かる緑道が八雲の方に伸びています。呑川緑道、



途中から地上に出て、呑川として蒲田大森から東京湾に注ぎます。シン・ゴジラのカマタ君が遡った川。それで思い出してね、母方の祖父の菩提寺があること。折しもお盆と旧盆の狭間、溺愛された初孫としてはたまに墓参しないといけませんや。目黒通りを横切って、お上品な住宅街をてくてく。最初は駐輪場だらけなのが、次第に穏やかな散歩道に模様替えます。中根橋なんて親柱が残ってたり、母親が八雲の学校に通ってた頃は川だったって聞いたっけ。

呑川緑道はそのまま深沢方面に伸びて行くけど、途中で呑川駒沢支流緑道という暗渠のT字路があるんで、ここを折れて、母親の母校を横目に、立派な参道と境内がある氷



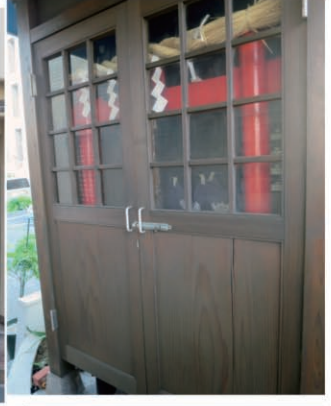
川神社へ。このちよい真が金蔵院、祖父母が眠るお寺です。氷川様をシヨートカットしてと、行けるかな?と思ったら、迷わずお墓の前まで行けた自分を褒めて、祖父母と一緒に眠る叔父に手を合わせて…。

さつき端折ってしまった氷川神社もきっちりお参りして鳥居を出たら、いきなり「ほん」の置き看板は、佐藤も卵も乳製品も使わない巨大グラパンパーニユだけ作る『ナシヨナル・デパート』。夏だからスイカ味にパインナップル味、色とりどりの一切れを詰め合わせれば、東京左半分も悪くないと宗旨替えしたりしてね。



言うまいと思えど日々の暑さかな、町を歩くも命懸け、せめて町名涼やかに、門前仲町裏つ側、髪結新三の焔魔堂、並びに広がる冬木の町へ、汗を拭き拭き向かうなら、ビルまたビルの幹線道路、学校会社にマンション倉庫、隙間にひよっこり個人宅、軒先縁は下町ルール、横にひよっこり神輿庫、日陰求めて

冬木でも灼熱陽射しは付いてくる 梅里  
 材木の町の誇りがたなびいて 目一杯収納上手のお稲荷さん



この橋は必ず優雅に渡ること

真夏に冬木の旅

右往左往、行き着く先は高架下、延々続く高速道路、真下に伸びる細長き、公園なのか幅広の、歩道なのか分からぬが、行きつく先は鶴歩橋、下を流るる平久川は、仙台堀川合流し、川のT字路作りしを、亀久橋から眺めたる、視線を変えれば真正面スカイツリーも堂々と、灼熱の空を突き刺して、位置関係を確  
 認し、脇道入れば点々と、材木商の看板が、なるほど木場は隣町、江戸の豪商紀伊国屋、奈良屋と並ぶ大店で、振袖火事後の復興で、空前絶後の大儲け、冬木屋こそが町田来、広大極まる屋敷の中に、冬木弁天あつたとか、今や深川七福神、祀った人が成功者、知れば参拜真剣に、名は涼しいが歩けば暑い、踵返して門仲へ、面目ないが救いの神は、弁財天よりビールかな。



街中が雨宿り出来る大天井

北口番外編  
東京大塚カウンター異聞  
K'sバーの人々

「こんちわ〜っじゃない、おはようオジサン!」、扉を開けると同時に元気な声が狭い店内に響き渡る。来たな、あの子が。「あつ有名人名っけ!」と僕を指さして大爆笑。何が變っても、こっただけはいつも通りって訳か…。

\*\*\*

「せお暑くて死にそう…」と云うが早いか僕の顔をチラ見して、「今、だったら死ぬばいいのにって思ったでしょ」と指を差され、「思いませんよ、元気で羨ましいなと」。カウンターの前(こ)では鐘ヶ淵さんが笑ってる。

「ああなたが使ってた飯店舗んとい、もう新しい飲み屋になっちゃったね」、「そうなんですよ。屋根の上でっかい提灯が付いてね」、「なんか怪獣みたいなのも乗っかってるよ」、「あれ、馬らしいですよ」。「向かいの店の大きな馬が睨んでると、アナタの店のベングンが動かなくなるんじゃないですか」と鐘ヶ淵さん、「ハハハハ、ねずみ、じゃないから」、「そうでしたね、ハハハ」。「ちよっとちよっとお、オジサン同士でなんのこと? ねずみってなんなの?」、「いやいやユキちゃん、そういう落語があるんだよ、左甚五郎という名工が出てくる噺」と説明する鐘ヶ淵さん。「ふ〜ん、まっアタシにやどつでもいい話ってことね」。そうか、彼女はユキちゃんて云うのか。

まあこの子から見れば、僕も鐘ヶ淵さんも同じおじさんのくくりには違いない。

「北口駅前のビルも、いよいよ取り壊しですな」、「地下が満喫のこね」、「そうなんですよ。でも随分前から上の方の階は空っぽでしたからね」、「昔はは旭屋って果物屋がありましたね」、「確か旭屋は、ビルになる前からありましたよ」、「二階にはダンス教室があつて」、「ヤシロギって言いましたっけ?」、「そうそう、ヤシロギダンス教室。大塚駅のホームから見えたんです」、「わあ、シャル・ウィ・ダンスみたいじゃん!」、「そういえばそうですね」、「大塚は昔からダンス教室が幾つもありました」、「昔の店の時代、時々やけに姿勢の良いオジサンが買い物に来たんです。クラーク・ゲールみたいな髭があつて、店のBGMに合わせでステップ踏むんです」、「フフ、近所のスクールの先生ですね、きつと」、「たまに生徒か弟子みたいな若い人と来ることもあつて、二人でステップ踏んで」、「アハハハ、もう条件反射なのよ、音が聞こえたらリズムを取っちゃう症候群よ」。

今でも大塚にはダンス教室が幾つかあるけど、その殆どが北口というのが面白い。日本舞踊のお師匠さんもある。でも南口にはバレエ用品専門店がある。在りし日には三味の音に合わせて座敷舞をする芸者衆もいたであろう三業地のDNAが、姿を変えて生き続けてるんだろうか。そんな三業地通りの入り口に、フレンチカンカンを見せる店があるのも不思議な因縁だ。

「でさ、大塚ビルの跡に出来るビルには、どんなお店が入るのかなあ?」、「ユキちゃんではなくても、ご近所さんなら誰もが気になるところ。でも「やっ」と基礎が終わったばかりですからね」、「だから今のうちにオーダーしとくんじゃないの!」、オーダーってレストランじゃないんだから。

「もう贅言言わないから、持ってきてえ〜マックウ〜」、「大塚ビルと共に消えたマクドナルドが、どこか他の場所に来るって話は聞きませんからね」、「スタバが二軒あつて、タリーズもドトールもあるのにマックが無いって、どうなのよ」、「まあアタシらの年齢じゃあ、もう用がなからね」、「僕もコーヒー買つくらいです」、「これだからオジサン達は困るのよ」、「でもユキちゃん的には、ときわ食堂じゃなかったっけ?」、「ああ、そんなこと言つてたっけね、大塚に駅ビルが出来る時、どっちがいい? って言われりゃ、ときわ食堂に決まってるじゃん」、「僕は断固パン屋です」、「ペンギンさんはパン好きだもんね」、「取り敢えずアタシの賛成しとくよ」。

\*\*\*

毎週火曜日のお昼時だけ手作りパンを売る謎の小林電気商会も、涼しくならないと販売が復活しない。大塚北口のパン屋受難の日々は、いつまで続くんだろう?

編集後記のようなもの

ます。まっ、僕は歩きますけどね、へへへ。★配布協力感謝・千駄木・古書ほつろう、吉祥寺・ブックスルーエ、雑司ヶ谷・旅猫雜貨店、法善寺横丁・洋酒の店路、築地・ふげん社、浅草・珈琲アロマ本駒込・青いカバ、平井・平井の本棚、大塚・ペンギン堂雜貨店。

この夏の異様な天気は、もう災害です。これが今年だけなのか当たり前になるのか。不安ですよねえ。しかも東京五輪を先行するって、こんな夏に世界中の人を集めていいわけがないと思いを